

トピックス



大阪市北区天満橋 1-8-75 TEL 050-3160-6763
<http://www.rinya.maff.go.jp/kinki/>

森林環境教育セミナーの開催



ナメコの植菌作業の様子



間伐体験をしている様子



山下教授の講義を聞く参加者

【計画部 箕面森林環境保全ふれあいセンター】

8月10日(水)に大阪府箕面市にある箕面国^{みのお}有林勝尾寺園地周辺において、箕面市の小・中学校経験2年目の先生や豊中市の小学校の先生、今回から幼稚園の先生も加わり、計23名に参加してもらい、京都大阪森林管理事務所とボランティア団体の協力を得ながら、森林環境教育セミナーを開催しました。

森林環境教育セミナーは、学校教育における森林環境教育の推進を目的として、箕面市教育委員会との共催により平成17年度から実施しており、今回で7回目の開催となります。

今回のセミナーの内容は、従来の京都教育大学の山下宏文教授による講義「森林環境教育の重要性と進め方」、箕面森林官による箕面国^{みのお}有林の概要説明、間伐体験に加え、当ふれあいセンターで作成した森林環境教

育推奨事例集の中から、間伐に付随した事例として「木の高さを目測する」、「木の年輪を数えよう」、「間伐、ナメコの植菌」を実践してもらいました。

セミナーの終わりには一日を振り返ってもらい、参加した先生からは、山下教授の講義を聴いて「森林面積が何年も変わっていないことは知らなかった」、間伐を体験して「木を伐り倒す体験はめったにできないことでよい経験になった。」

全般としては「自分たちで木を伐ったりナメコを植えたり、普段の生活の中で経験できないことができてよかった。普段、木に目を向けることはあまりなかったけれど、今後は意識してみようと思う」、「子どもたちにも自然の中に入って、木にさわったり葉にさわったりして自然に近づく体験をしてほしい」などの感想が聞かれ、今回楽しく体験したことや推奨事例集の楽しい事例を、学校の授業等を通して先生から子どもたちに伝えていただくことを期待するところです。

最後に指導普及課長から、「国際森林年」のPRとともに、「森林環境教育の場として、皆さんの身近にある箕面国^{みのお}有林を活用してほしい」とお願いし、セミナーを終了しました。

地域ニュース

台風12号による災害への対応状況

【森林整備部 治山課】 台風12号による森林被害が管内の各地で発生しました。

近畿中国森林管理局では、特に被害の激しかった和歌山県、奈良県、三重県について、ヘリコプターによる県との合同調査に加え、奈良県内で実施中の十津川地区民有林直轄治山事業地内で発生した大規模崩壊地について（独）森林総合研究所の専門家との調査を実施しました。



ヘリコプターに乗り込む職員

上写真：上空から撮影した奈良県内の被害状況



右写真：調査に向かう山地災害対策緊急展開チームと奈良県職員



山地災害対策緊急展開チームのメンバー（前列）

さらに、奈良県から林野庁に山地災害調査等への技術的支援要請があり、近畿中国、北海道、中部、九州の各森林管理局の治山技術者で構成する山地災害対策緊急展開チームを派遣し、奈良県職員とともに災害箇所の測量等調査を実施しました。

現在の状況については、近畿中国森林管理局のホームページよりご覧下さい。

関連ホームページ
<http://www.rinya.maff.go.jp/kinki/>

『北但地域における森林共同施業団地設定を目指して』ワークショップを開催

【兵庫森林管理署】8月30日、兵庫森林管理署会議室において、兵庫県豊岡農林水産振興事務所、朝来農林振興事務所、北但東部・西部森林組合等の北但地域の関係者と当署職員4名を含め16名が出席し、北但地域における森林共同施業団地設定に向けたワークショップを開催しました。

はじめに、兵庫県光都農林水産振興事務所の小長井指導員から、『「連携」で切り拓く流域林業の活性化』と題して、国有林と民有林の連携、行政界を超えた越境連携などについて、実際の事例を交え、候補地の選定から協定の締結に至るまでの過程や連携に向けた問題点、連携に至らなかった事例などの講義を受けました。

その後、穴栗地域での取組事例を参考に、関係者の情報を共有するため北但地域の国有林、公有林、私有林等の分布状況や森林所有者の合意形成を進めるための問題点等について意見交換を行いました。

また、穴栗地域での民国連携をより広域な連携にするための新たな協定の仕組みや団地にこだわらない所有者の森林すべてを協定の対象地域とする「森林管理署と穴栗市との属人協定」を紹介し、北但地域での森林共同施業団地設定に向けての第一歩を踏み出すワークショップとなりました。

小長井指導員による講義



活発に議論された意見交換会の様子

関連ホームページ
<http://www.rinya.maff.go.jp/kinki/hyogo/>





【山口森林管理事務所】 山口市の主催による「森林セラピー体験イベント」が滑山国有林（山口市徳地町）を舞台に開催されました。

平成18年に日本初となる森林セラピー基地に認定されている滑山国有林は、本州最西端のブナの天然林、樹齢200年を超える滑マツ、林野庁「森の巨人たち百選」に選定されている三本杉など見どころが豊富で、貴重な自然を求めて、あるいは各種森林セラピーイベントを通して多くの人々が訪れる人気スポットです。

当日は、小学生2名を含む一般参加者8名と、森の案内人、山口森林倶楽部、山口市及び森林管理事務所などスタッフを合わせた総勢19名で滑山国有林に集合。

まず最初に、アカマツ（滑マツ）、ブナ、コナラなどを対象とした保護林内で稚樹の発生を促すための「下草刈り」作業を体験しました。樹齢200年近い大木の間に広がる笹覆地の刈払作業は想像以上に大変な作業。汗びしょりとなりながら慣れない手つきで慎重に鎌を振るう姿が印象的でした。

下草刈り体験の後は、県内有数の名山「飯ヶ岳（標高937m）」目指して登山を楽しみました。

厳しい日差しであったにもかかわらず、アカマツやブナの大木の中を歩くコースは非常に涼しくさわやかで、森の持つ癒し効果も相まって参加者皆、リラックスした雰囲気を目指しました。



森林セラピー体験する参加者

下草刈り体験

頂上について景色を眺めながら一服する参加者

予定どおりの時刻に山頂へ到達。360度のパノラマの中で食べるお弁当はとても美味で、会話も弾む楽しいひとときを過ごしました。

国有林をフィールドとした作業体験と癒し効果たっぷりの登山も予定通りのスケジュールで無事に終了。

国際森林年のメインテーマである「森を歩く」にピッタリの企画となりましたが、帰路につく参加者の満面の笑顔から今回のイベントの成果が伺えました。

関連ホームページ

<http://www.rinya.maff.go.jp/kinki/yamaguchi/>



【計画部 森林技術センター】 森林技術センターと岡山署合同森林事務所では、8月3日（水）から5日（金）までの3日間にわたり、職場体験学習として岡山県新見市立神郷中学校2年生を受け入れました。

この職場体験学習は、岡山県教育委員会が「岡山チャレンジ・ワーク14」中学生の地域における職場体験活動等を通して、望ましい職業観や勤労観を育て、将来の生き方を考え積極的に生活・学習することができることを目的として実施されています。

今年は、国有林での体験を希望した生徒は1名でしたが、この機会に広く森林・林業の現場を体験してもらいたいと思い、森林技術センターと森林事務所の業務を体験していただきました。



職員に教わりながら木の生長量調査をしている様子

まず、体験初日には、岡田所長より国有林野事業と森林技術センターの業務について簡単なレクチャーを行い、その後、藤原企画官の指導により技術開発課題の試験地において、間伐方法の違いによるヒノキ林の状況の違い等を観察した後、昨年度のデータと比較しながら、幹周囲の大きさ、樹高等を測定する生長量調査と、路網の経年変化を観察するモニタリング調査を体験しました。

また、森林事務所では、境界巡視や不明標の探索、間伐調査を体験しました。

不明標探索では、椿森林官の指導によりコンパスと巻尺を使い不明標の位置を特定した後、鍬を使い地中に埋まっていた不明標を二個探し出すことに成功しました。

その他、間伐調査体験では、間伐体験、間伐箇所の

見学も行いました。

体験者からは今回の職場体験の感想として「山は手入れをしないと水を蓄えられなくなったり、木が細くなって倒れやすくなったりするので、手入れは大切なことだということが分かりました。自然を相手に仕事をするのは大変なことだけど仕事のやり甲斐も大きいので良いなと思いました（原文）」との感想を頂きました。



コンパス（測量器具）を使って境界の不明箇所を探し出す実習をしている様子

岡山森林管理署と森林技術センターでは、地域の方々に国有林を身近に感じて頂くため、今後もこのような体験学習、体験林業等の受入に積極的に協力していきたいと考えています。

関連ホームページ
<http://www.rinya.maff.go.jp/kinki/okayama/>



【福井森林管理署】福井県大野市内の2箇所の会場において、国際森林年・「森と湖に親しむ旬間」行事を実施しました。

好天に恵まれた「真名川ダムサイト」では、小枝のモックン作りやパネル展示、航空写真の立体視などを行い、大勢の家族連れなどで賑わいました。



モックン作りをする親子
「真名川ダムサイト」

ゲームに挑戦している子どもたち
「スターランドさかだに」

もう一方の会場の「スターランドさかだに」では、つるかご作りや恐竜クラフト作り、木製スマートボールなどの各種ゲームが用意され、子どもたちの歓声が

聞こえました。

両会場ともに、子どもたちには大人気があり、今後も出来る限り参加していきたいと考えています。

関連ホームページ
<http://www.rinya.maff.go.jp/kinki/hukui/>

お知らせ



市民と森林をつなぐ国際森林年の集い
in 琵琶湖・淀川流域

第4弾「森をつなぐ」
未来に向かって、森を活かそう

2011国際森林年記念行事を開催

日程：2011年10月30日（日）10:00～16:30

場所：万博記念公園（自然観察学習館ほか）

参加費：入場無料

定員：第1部50名、第2部150名

万博記念公園には、40年の年月を経て、人の手で再生した森林があります。今、その森には生き物があふれ、自然観察や環境教育、木質エネルギー利用の実証実験等、様々な形で活かされています。都市の中でも、人の手で森はここまで再生できる。万博の森を舞台に、未来に向かって森を育み、私たちの暮らしに森を活かすとともに、空間や世代を越えて森をつないでいく方法について考えます。

詳細につきましては、下記アドレスよりご覧下さい。

<http://www.rinya.maff.go.jp/kinki/pdf/kokusai231005.pdf>



森林のギャラリー（局庁舎1階）

【10月の展示スケジュール】

10/4～10/13

「オフィスに木の香りとやすらぎを」展示会

【近畿中国森林管理局】

10/17～10/22（土・日開催）

第3回作品展（水彩画）

【ノルドスケッチ】

10/24～11/5（土・日開催）

第5回木の造形展～大阪芸術大学作品展～

【大阪芸術大学美術学科】